

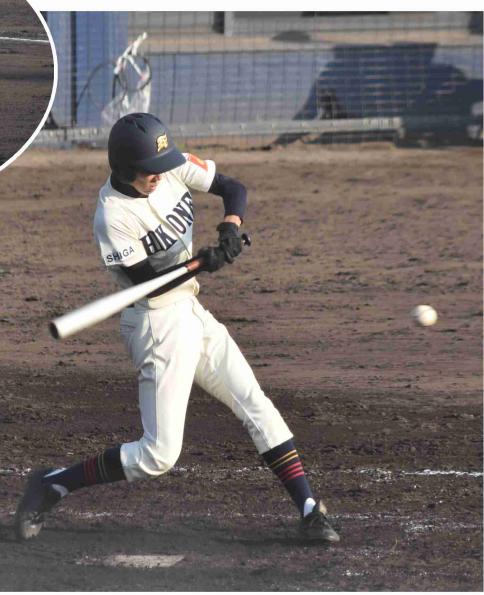
野球 平成29年度秋季近畿地区高等学校野球大会

準々決勝

彦根東 3-4 近江



▼5回に適時打を放った宇野圭一郎君(2-6)



▶熱投を見せた増居君

▶2打点を挙げた高内君

11月3日に大阪府の大阪シティ信用金庫スタジアムで平成29年度秋季近畿地区高等学校野球大会の準々決勝が行われた。本校は近江高校と対戦し3-4で惜敗した。

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
彦根東	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
近江	0	1	1	0	2	0	0	0	X	4

この敗戦を受けて主将の高内君は「本当に勝てた試合だった。もつといないミスもあつた。なかなかつた。この敗戦を受けた増居君は、2打点を挙げた高内君が、相手のエラーを誘い、走者2人が生還。一挙3点を挙げ、3-2と逆転に成功した。しかし五回裏、一死二・三塁から本塁への送球が間に合わず同点、守備の乱れによる隙を突かれて3-4と逆転を許す。その後本校は思うようならぬがでできず、あと一点が届かなかつた。

この敗戦を受けた増居君は、「本当に勝てた試合だった。もつといないミスもあつた。なかなかつた。この敗戦を受けた増居君は、2打点を挙げた高内君が、相手のエラーを誘い、走者2人が生還。一挙3点を挙げ、3-2と逆転に成功した。しかし五回裏、一死二・三塁から本塁への送球が間に合わず同点、守備の乱れによる隙を突かれて3-4と逆転を許す。その後本校は思うようならぬがでできず、あと一点が届かなかつた。

監督の村中隆之先生は、「判断ミスや守備のミスなど色々なミスがあつた。やることをしつかりやれば勝てる、経験のなさがいっぱい出た試合だった。負けるときは当たり前のことを当たり前にできていな

あと1点が届かず惜敗 激闘の滋賀県勢対決 僅差で敗戦



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金龜町4番7号

試合は2回裏に相手のホーミランで1点を先制され、3回にも適時打によって1点を加えられた。本校は3回まで安打がなかつたものの、4回表の攻撃で、その回の先頭打者の野寄重太君(2-3)がセンター前に安打を放ち、続く4番の高内希君(2-8)の打席で野寄君が盗塁を決め、無死二塁のチャンスを作った。その後連打で打線をつなぎ得点には結びつかなかつた。しかし、5回表の攻撃で本校は反撃に出た。2アウト走者なしの状態から連打でランナー一・二塁とし、2番の宇野圭一郎君(2-6)が三遊間を抜けるレフト前安打を放ち、1点を返した。続く3番の野寄君が死球で出塁し、二死満塁。さらに4番の高内君の打球が相手のエラーを誘い、走者2人が生還。一挙3点を挙げ、3-2と逆転に成功した。

この試合で先発し、8回を一人で投げ抜いた増居翔太君(2-4)は「結果としては負けてしまつたが、内容としては勝てるはずだったでの負け悔しい」とこの試合を振り返った。自身のピッチングについては、「いつも立ち上がりが悪い傾向があつて、今回も序盤に打たれてしまつた。打たれるとわかっているところで打たれた。力不足だと思う」と悔しさをにじませた。

監督の村中隆之先生は、「判断ミスや守備のミスなど色々なミスがあつた。やることをしつかりやれば勝てる、経験のなさがいっぱい出た試合だった。負けるときは当たり前のことを当たり前にできていな」と振り返られた。また「夏に向けてきつちりと体をつくる。自分たちの戦い方が近畿でも通用するとわかつた」と来年の夏を見据えて話された。